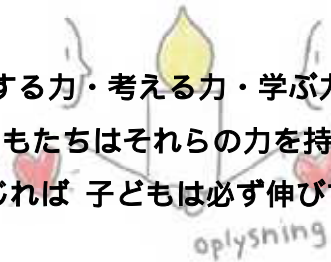


第16回『ナビゲーション講座 基礎編』 開催のご案内

「子どもが成長する力・考える力・学ぶ力・行動する力
全ての子どもたちはそれらの力を持っている
それを信じれば 子どもは必ず伸びていく」



ランネット・グローバルスクールでは開校以来、この理念に基づいて日々子どもたちの学びと成長を支援してきました。具体的な取組みとしては、既存の小中学校とは異なる新たな視点で子どもの学びを問い直し、少人数クラスやテーマ学習・プロジェクト学習等独自のカリキュラムを導入しています。その特色あふれる教育を日々実践し、子どもたちの学びと成長を見守り、手助けするのがランネット・グローバルスクールのナビゲータです。

『ナビゲーション講座』は、当スクールが子どもたちと接する中で積み重ねてきたナビゲーションの知識と経験を積極的に発信していきたいと考え実施しているものです。おかげさまで大変ご好評をいただいております、このたび16回目の基礎編講座を開くこととなりました。

本講座では、炭谷をはじめとするナビゲータとのディスカッションを通じて、「第3の教育」および「ナビゲーション」の基本的な考え方を共有するほか、さまざまなワークショップや事例研究を行い、ナビゲーションの考えに基づいたアプローチを体験・習得していただけます。

講座内容の豊かなことはもちろん、参加者同士の交流も大きな魅力のひとつです。保護者の方々や教育関係者に限らず、学生、一般の方々など、どなたでも参加いただけます。

- * 参考図書；『第3の教育 突き抜けた才能は、ここから生まれる』炭谷俊樹著（角川書店）
- * ランネット・グローバルスクール ホームページ：<http://l-net.com>

要領は下記の通りです。どうぞ万障お繰り合わせの上ご参加ください。

- 記 -

対象者：・ナビゲータになりたいと考えている方

- ・親として子どもの接し方を思案している方
- ・教師として子どもへのアプローチ方法を模索している方
- ・その他、ランネットのナビゲーションの考え方に興味をお持ちの方

講座内容：・「ナビゲーション」とは何か、「第3の教育」とは何か、という基本概念を知る。
・ワークショップを通じて、「人や自分について知る」ための観点やアプローチについて体験する。

- ・ランネットでの実例・事例等を題材としたディスカッションを通じて、ナビゲーションの考えに基づいた主体的な問題解決アプローチを習得する。

ナビゲータ：炭谷俊樹ほか

日程：平成22年4月17日(土)～4月18日(日) 1泊2日
(1日目 9:45 集合、2日目 16:00 終了、17:00 解散予定)

場所：ランネット・グローバルスクール 六甲山のびのびロッジ

費用：受講料 28,000 円 + 実費（宿泊料金と食費(4食)：12,000 円程度)

募集定員：16名

申込〆切：平成22年4月 2日(金)

定員になり次第締切りますのでお早めに！

申込問合せ：tel：078-436-8575 mail：navi@l-net.com

(担当：吉田・藤原・友田)

参加申込の方には詳細をご案内しますので、住所、氏名、連絡先(電話番号)をお知らせください

講座の流れ：4月17日（土）

- ・ナビゲーションの考え方
- ・ナビゲーションの実例紹介
- ・人や自分を知るワークショップ
- ・懇親会

4月18日（日）

- ・学習の動機付けについて
- ・ナビゲーション・ケーススタディ
（事例についてのディスカッション）
- ・ちょっとブレイク：知の探究
- ・振り返り

参加者の声（ふりかえりシート・感想より）

～第14回講座参加者の声～

さまざまな人が第3の教育というテーマで集まり、活発にディスカッションできて楽しかった。
（会社員女性・一児の母）

子どもを見る視点として、ラーンネットで大切にしていることは“モチベーション”だったんだ！と言うことが一番の再発見でした。
（公立小学校教師・女性）

今回講座で学んだナビゲーションは日常の色々な場で使うことができるものだと思います。だからこそ色々なフィールドからの参加者が多いのではないのでしょうか。
（団体職員・男性）

子どもとのこれからの関わり合いのために参加するという目的でしたが、自分をふりかえりフィードバックするきっかけとなる講座でした。
（一児の母）

～第15回講座参加者の声～

大切なところ（ゴールイメージを持って、愛情をきちんと伝えれば）を守れば、案外子育てって何とかなるかも...と思えました。実は子ども好きという訳でもなかったのですが、ラーンネットや参加者のお子さんの具体的な話をお伺いすることで、「子どもっておもしろい！」と感じました。いつか（そう遠くないいつか）子育てしてみたいです。
（会社員・女性）

ケーススタディは非常に興味深かったです。もっとたくさんのケースを、より深くディスカッションしたいと思いました。
（研究開発職・男性）

親の価値観を強制するのではなく、考え方を伝えたくて一緒に話し合い、一緒に取り組み、やりたいことの実現に向けて協力してやりたい。
（会社員・4児の父）

事務局から一言

春の爽やかなのびのびロジックで、同じ興味のもと集まった方たちと話し合う楽しさを体験しませんか？
さまざまなバックグラウンドをお持ちの方と話し合う中で、“いつもの自分”の思いや行動を客観的に見つめることもできると思います。是非ご参加ください！
（ナビゲータ：藤原 真季）